

## 1. 病院について

### (1) 設置主体

- 1 : 大学病院
- 2 : 国立病院
- 3 : 公立病院
- 4 : 医療法人病院
- 5 : その他 ( )

### (2) 病院機能

- 1 : 一般病院
- 2 : 特定機能病院
- 3 : その他 ( )

### (3) 病院全体の病床数

( ) 床

### (4) 病院全体の年間平均稼働率

( ) 床

## 2. 病棟について

### 対象となった病棟の概要

\* 稼働率及び平均在院日数は最新のものを日付と共にご記入下さい。

病棟名	診療科目	病床数	稼働率	平均在院日数

### 看護部資料から転記【看護師経験年数構成表】

事前に看護部で記入してください。

評価当日の日勤者には印を入れてください。

個人名を記入しなくても番号やイニシャルで記入して構いません。

4月1日を基準に、経験年数として見て下さい。

経験数ヶ月の場合は、1年未満とします。

4月1日の時点で、すでに何年間経験しているかをみます。

例えば、4月1日の時点で経験が3年6ヶ月の場合は3年となります。

1年未満の新人は1年未満と表示します。

看護師経験年数構成表 NO.1

	氏名	職種	看護師の 経験年数	この病棟での 経験年数
1		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
2		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
3		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
4		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
5		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
6		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
7		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
8		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
9		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
10		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
11		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
12		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
13		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
14		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
15		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
16		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		

看護師の場合、准看護師の経験は経験年数として加算しないで記入してください。  
このデータは病棟の評価日の勤務者との突き合わせが終了した時点で破棄します。

看護師経験年数構成表 NO.2

	氏名	職種	看護師の 経験年数	この病棟での 経験年数
17		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
18		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
19		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
20		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
21		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
22		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
23		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
24		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
25		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
26		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
27		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
28		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
29		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
30		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
31		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		
32		看護師 准看護師 看護助手 クラーク その他 ( )		

看護師の場合、准看護師の経験は経験年数として加算しないで記入してください。  
このデータは病棟の評価日の勤務者との突き合わせが終了した時点で破棄します。

<転倒・転落・褥創発生件数于エック表>

施設・病棟名

平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計
転倒(件)																																
転落(件)																																
褥創(個)																																
当日の在院患者総数																																

『転倒』・『転落』について

\* 転倒とは、段差のないところで、転ぶこと。転ぶ速度は問わない。

\* 転落とは、段差のあるところから、落ちること。落ちる速度は問わない。

定義: 事故の大小にかかわらず、また看護職の介助や家族の付き添いの有無にかかわらず、病棟内で起きた転倒・転落の全例をいう。

検査等でやむをえず病棟を離れる場合も含む。

カウント方法: 看護師が把握した全てのケースをカウントする。

『褥創』について

定義: 表皮剥離の状態で、褥創形成とする。

カウント方法: 入院中にできた褥創をカウントする。例えば、入院前よりある褥創はカウントしないが、同一患者が入院中に新たに褥創を生じた

場合はカウントする。また同一患者の場合、3カ所褥創があれば、「3」とカウントする。

『当日の入院患者のべ総数』について

算出方法: 前日の最終在院患者数 + 当日の入院患者数 (退院患者はマイナスしない)

## 「入院中の看護に関するアンケート調査」による評価資料

### 1) 必要書類

- ①入院中の看護に関するアンケート患者用・家族用 50セット
- ②返信用封筒 50セット

### 2) 配付方法

患者用質問紙、家族用質問紙、返信用封筒が1セットになっています。  
そのまま渡してください。

#### ① 配布対象

現在入院中の患者さんで、アンケートに答えることが可能な患者さんとそのご家族  
患者さんのご家族がいらっしゃらない場合も渡して下さい。  
ご家族用質問紙が無記入で返送して頂いてかまいません。

#### ② 配布時期

アンケート用紙が到着してからすぐ配布しはじめてください。

#### ③ 配布期間

お手元に質問紙が渡った時点から、アンケート50部が配布し終えるまで配布して下さい。  
月 日までに50部配布できなかった場合は、その時点で配布を中止してください。

患者様、ご家族様へ

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究への御協力をお願い

ー入院中の看護に関するアンケート調査のお願いー

質の高い医療サービスへのニーズが高まっています。私たちは、看護の質を向上させていくために、入院中、患者さんがどのようなケアを受けておられるのか、その質を評価する方法を開発しています。この度は、患者様とご家族様に入院期間中に受けられたケアについてのご感想をお聞かせ願いたくアンケートを用意いたしました。この研究にご協力いただけます場合は、アンケートにお答えいただき、返信用封筒に入れ投函して下さい。切手は不用です。できるだけすべての項目にお答えいただければありがたいですが、項目によって答えたくない場合は、その項目は記入しないでお出しただいて結構です。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、ご本人とご家族用を合わせて、添付の封筒に入れて、1週間以内にご返送ください。

このアンケートに協力することは自由意志です。ご回答いただきました皆様方のご意見は直接私どもが受け取りますので、病棟の方がご覧になることはございません。アンケートは無記名ですのでどなたが書かれたのかは、一切わからないようになっています。アンケートによって得られたデータはこの研究以外に用いられることはなく、研究終了後は処分いたします。この結果は、病院名など対象を特定される情報を除外して、関連学会誌等に発表される場合があります。お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。このアンケートに関して、ご質問、ご意見などがございましたら、いつでも下記の連絡先にお問い合わせください。

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究班

主任研究者：片田 範子（兵庫県立看護大学）

分担研究者：内布敦子（兵庫県立看護大学）、上泉和子（青森県立保健大学）

栗屋典子（大分県立看護科学大学）、桜井礼子（大分県立看護科学大学）

坂下玲子（兵庫県立看護大学）、鄭佳紅（青森県立保健大学）

大塚奈央子（兵庫県立看護大学）

この研究に対するご質問、お問い合わせは下記のところまでお願いいたします。

<事務局> 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71 兵庫県立看護大学内

電話・FAX：078-925-9435

担当 内布 敦子

# 入院中の看護に関するアンケート

あなたの入院していた病院名 ( \_\_\_\_\_ )

あなたの入院していた病棟名 ( \_\_\_\_\_ )

あなたの年齢は ( \_\_\_\_\_ 歳) 性別は ( 男性 ・ 女性 )

あなたの入院期間は (約 \_\_\_\_\_ 日)

入院中にあなたが受けた看護について

下記の設問ごとに

「大いにそう思う～まったくそう思わない」のうち、  
該当する番号に○をつけて下さい。

大	や	あそ	まそ
いそ	やそ	まう	っう
にう	う	り思	た思
思	思	わ	くわ
う	う	な	ない
		い	い

- |                                       |   |   |   |   |
|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 看護師がいることで、安心して検査や治療が受けられた          | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 2. 安心して、看護師の世話が受けられた                  | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 3. 自分で身体が拭けない時に、看護師に気持ちよく身体を拭いてもらっていた | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 4. 痛みがあった時には、気兼ねなく看護師に言えた             | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 5. 看護師の対応によって、痛みは落ち着いた                | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 6. 痛みがあった時の看護師の対応に満足できた               | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 7. 看護師は、私の身体の状態をよく知ってくれていると思う         | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 8. 看護師から大切にされていたと思う                   | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 9. 納得して、治療・看護が受けられた                   | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 10. 伝えて欲しいことを1人の看護師に言えば、他の看護師にも伝わった。  | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 11. 看護師に言えば、必要なことは医師に伝わっていた。          | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |
| 12. ご家族への看護師の対応に満足できた                 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|                                       |   |   |   |   |

\* ご回答に際し、内容や表現でわかりにくい点などございましたら、下の欄にお書き下さい。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

## 入院中の看護に関するアンケート（ご家族の方へ）

あなたの年齢は（      歳）    性別は（ 男性・女性 ）  
 患者さんとの続柄は（                      ）

入院中のご家族(患者さん)に対する看護やあなた自身に対する看護師の関わりについて、下記の設問ごとに「大いにそう思う～まったくそう思わない」のうち、該当する番号に○をつけて下さい。

	大 い に う 思 う	や や そ う 思 う	あ そ ま う り 思 わ な い	ま そ っ う た 思 く わ な い
1. 面会の際、気兼ねなく入院中のご家族(患者さん)と一緒にいられた	4	3	2	1
2. 看護師が入院中のご家族(患者さん)に行っている世話に満足であった	4	3	2	1
3. 入院中のご家族(患者さん)の役に立ちたいと思ってしたことを看護師は認めてくれていた	4	3	2	1
4. あなた自身、患者さんの家族として看護師から大切にされていたと思う	4	3	2	1

\*ご回答に際し、内容や表現でわかりにくい点などございましたら、下の欄にお書き下さい。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

設備評価用紙

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	判定
3.1.1. 家族/重要他者が気持ちよく過ごせる空間がある	設備 家族が話せる場所	家族が話せる場所とは、個室をさす。個室がない場合はデイルームなどをみて判断する。	家族や面会者と病室以外の場所で話したいという希望があったときに提供する場所がある 1) 家族が話せる場所は、プライバシーが十分に守られている (1) 他者が突然入ってこない工夫がされている (使用中の札や鍵が取り付けられている) (2) 声がかもれない (外に立って試してみる) 2) 家族が話せる場所は、安楽さが保たれている (1) 廊下の話し声がしない (部屋の中で外の声を聞いてみる) (2) 十分な換気がされている (窓、換気扇、又はエアコンの設置) 3) 家族が話せる場所は、利便性がある (希望時にいつでも使用できる)	a 十分 b 不十分 c そのような場所はない  a 普通の声がかもれない b 普通の声がかもれる c そのような場所はない a 話し声が気にならない b 話し声が気になる c そのような場所はない  a 十分 b 不十分 c そのような場所はない  a 使用を待ってもらうことはほとんどない b 使用を待ってもらうことがある c そのような場所はない	
3.1.2. ベッドサイドに家族がいることができ る十分な空間がある	設備 病室大部屋	その病棟で最も一般的な多床室をみて判断する。	1) 病室の中・プライバシーが守られている 2) ベッドサイド・安楽さが保たれている (a: 患者用以外に病室の中に椅子があるかで判断する。他患との共有でもよい) 3) ベッド間隔が十分に確保されている 大部屋患者1人当たり病室面積 ( ) m <sup>2</sup> (管理者に確認する) (実測する場合には、トイレ・洗面所を含む)	a カーテンがある b カーテンがない a 患者用と家族が自由に使える椅子がある b 患者用の椅子がある c 患者用の椅子がない  a (2点) 6.5m <sup>2</sup> 以上 b (1点) 5.5~6.5m <sup>2</sup> 未満 c (0点) 4.3~5.5m <sup>2</sup> 未満	

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	判定
6.1.1. 入浴およびトイレの設備の安全性が確保されている	設備 お風呂	実際に浴室を見て判断する  * 片麻痺の患者が介助なしで入浴可能になった状態を想定して判断する。	入浴設備の安全性が確保されている 1) 手すり  2) 滑り止め (浴室の床にすべらない工夫がされている)  3) ナースコール (十分とは、ナースコールが脱衣所と浴室にそれぞれ設置されていることをいう)	a 浴槽に安全にたどりつくのに十分 b 不十分 c 手すりはない  a 浴槽に安全にたどりつくのに十分 b 不十分 c 滑り止めはない a 患者が使いやすい場所にある b あるが不十分 c ナースコールはない	
	トイレ	実際にトイレを見て判断する  * 片麻痺の患者が介助なしで使用することを前提として、自分で座って確認する。	トイレの設備の安全性が確保されている 1) 手すり  2) ナースコール	a 便座に安全にたどりつくのに十分 b 不十分 c 手すりはない a 患者が使いやすい場所にある b あるが不十分 c ナースコールはない	

構造評価用紙 16 指標に基づく評価内容、調査方法、評価項目、評価尺度

評価施設:

評価日: 平成 年 月 日 ( ) 評価者:

1. 患者への接近

評価指標 1.1: 個別情報を示す道具がある (4点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
1.1.1. 現在の個々の患者に必要な情報が明記されている	書類 看護記録 カルテなど	看護記録、カルテなどを直接見て判断する * 記録物に印刷された項目がなくても、ルチーンで記入欄を決めていけばあると評価する。	患者の保清を行うのに必要な情報を書く記録項目についてお聞きします。 a 安静度と保清方法の項目が両方ある b 安静度が保清方法のどちらか1項目がある c どちらもない	a (2点) b (1点) c (0点)	
1.1.2. ケアに必要な個別情報が見ることができる	書類 看護記録 カルテなど	看護記録、カルテなどを直接見て評価する	現在の個々の患者に必要な情報 (体温票・看護記録・指示票・ケアプラン用紙) が明確にされたものがアクセスしやすい状態にあるかどうかについてお聞きします。 a 全ての記録物がステーションの中にあり、一元化されている。 b 全ての記録物がステーションの中にあるが一元化されていない。 c 一つ以上の記録物が欠けている。	a (2点) b (1点) c (0点)	

指標1.2: 患者や家族の習慣、希望、時、空間、安全性を尊重する姿勢を持っている (6点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
1.2.1. 患者を尊重する姿勢を持っている。	書類 患者尊重を明示した物 (新人科インテイク/用の資料等)	患者尊重を明示したものを直接見て評価する	1) 病棟内にスタッフに対して患者尊重を明示したものがあ a 明示したものがあ b 明示したものはない 2) 患者尊重を明示したものをスタッフへの意識付けに活用している a 活用している b 活用していない	a (2点) b (0点) a (2点) b (0点)	
1.2.2. 患者、家族を尊重することを患者、家族に知らせるシステムがある	書類 (患者向け入院案内等)	患者尊重を明示したものを直接見て評価する	患者尊重を患者・家族に明示したものがあ a 明示したものがあ b 明示したものはない	a (2点) b (0点)	

2. 内なる力を強める

評価指標2.1：疾患の予後、痛みの状況回復過程に関する資料がある（10点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
2.1.1病気の回復過程、退院後の生活に 関して患者に説明 するためのパンフ レットや資料があ る	書類 パンフレット 資料	1) から6) の項目を すべてチェックし、右 の計算式で得点を出 す。 * 該当する患者がい て、パンフレットが病 棟になくても、他の部 署のパンフレットが患 者に手渡されていれ ば「ある」とする	以下の6つ項目について、該当する患者がいて、説明のためのパンフレット や資料がない患者項目数を以下の中から選んでください。  <6つの項目> 1) 手術を受ける患者 2) 食事指導が必要な患者 3) 生活指導が必要な患者 4) 化学療法を受ける患者 5) 放射線療法をうける患者 6) 医療的な自己管理が必要な患者  a : 0項目 b : 1項目 c : 2項目 d : 3項目 e : 4項目 f : 5項目 g : 6項目	a (6点) b (5点) c (4点) d (3点) e (2点) f (1点) g (0点)	

### 3. 家族の絆を強める

#### 評価指標3.1：重要他者がそばにすることができる設備・備品がある（16点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
3.1.1. 家族/重要他者が気持ちよく過ごせる空間がある	設備 家族が話せる場所	家族が話せる場所とは、個室をさす。個室がない場合はデイルームなどをみて判断する。	<p>家族や面会者と病室以外の場所で話したいという希望があったときに提供する場所があるかどうかについてお聞きします。</p> <p>1) 家族が話せる場所は、プライバシーが十分に守られている (1) 他者が突然入ってこない工夫がされている (使用中の札や鍵が取り付けられている)</p> <p>a 十分 b 不十分 c そのような場所はない</p> <p>(2) 声もれない</p> <p>a 普通の声もれない b 普通の声もれる c そのような場所はない</p> <p>2) 家族が話せる場所は、安楽さが保たれている (1) 廊下の話し声がしない (部屋の中で外の声を聞いてみる)</p> <p>a 話し声が気にならない b 話し声が気になる c そのような場所はない</p> <p>(2) 十分な換気がされている (窓、換気扇、又はエアコンの設置)</p> <p>a 十分 b 不十分 c そのような場所はない</p> <p>3) 家族が話せる場所は、利便性がある (希望時にいつでも使用できる)</p> <p>a 使用を待ってもらうことはほとんどない b 使用を待ってもらうことがある c そのような場所はない</p>	<p>a (2点) b (1点) c (0点)</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p>	

<p>3.1.2 ベッドサイドに家族がいることができる十分な空間がある</p>	<p>設備 病室大部屋</p>	<p>その病棟で最も一般的な多床室をみて判断する。</p>	<p>1) 病室の中・プライバシーが守られている  a カーテンがある  b カーテンがない</p> <p>2) ベッドサイド・安楽さが保たれている  a 患者用と家族が自由に使える椅子がある  b 患者用の椅子がある  c 患者用の椅子がない  (a: 患者用以外に病室の中に椅子があるかで判断する。他患との共有でもよい)</p> <p>3) ベッド間隔が十分に確保されている  大部屋患者1人当たりの病室面積を下記の中から選択してください。(管理者に確認する)  (実測する場合には、トイレ・洗面所を含む)</p> a 8m <sup>2</sup> 以上 b 6. 4~8m <sup>2</sup> 未満 c 4. 3~6. 4m <sup>2</sup> 未満	<p>a (2点) b (0点)</p> <p>a (2点) b (1点) c (0点)</p> <p>a (2点) 8m<sup>2</sup>以上 b (1点) 6. 4~8m<sup>2</sup>未満 c (0点) 4. 3~6. 4m<sup>2</sup>未満</p>	
---	---------------------	-------------------------------	---	--	--

### 3. 家族の絆を強める

#### 指標3.2：規則に融通性がある(2点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
3.2.1. 面会時間が自由、もししくは融通性がある	看護師	あなた自身の判断で判定する。	<p>面会時間は、対応した看護師の判断で融通することができることになっている</p> <p>a 対応した看護師の判断で融通できる</p> <p>b 師長か主治医に判断を委ねる</p> <p>c 融通することはない</p>	<p>a (2点)</p> <p>b (1点)</p> <p>c (0点)</p>	

4. 直接ケア

評価指標 4.1：病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について基準・手順がある（8点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
4.1.1 病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題に関する看護基準がある	書類 看護基準	その病棟で特徴的な問題についての看護基準（例えば骨髄穿刺、心臓カテーテル検査後の看護等）を見て、チェックする。	<p>1) 病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題についての看護基準の中に以下の3つの項目について、下記のa～cを選択してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;3つの項目&gt;</p> <p>(1) 患者の一般的な経過</p> <p>(2) 具体的な観察項目</p> <p>(3) 具体的なケア項目（指導内容）</p> </div> <p>a (1) (2) (3) 3項目が全て明記されている。  b (2) と (3) の項目が明記されている。  c (2) か (3) がない</p> <p>2) 看護基準の見直しがされている</p> <p>a 1年に1回見直されている  b 1～3年に1回見直されている  c 3年以上見直されていない</p>	<p>a (2点)</p> <p>b (1点)</p> <p>c (0点)</p>	
4.1.2 看護師が行う処置についての手順がある	書類 看護手順	4.1.1. で選択した基準について、必要な手順を書いたものをチェックする。	<p>1) 4.1.1. で選択した看護基準の中で必要な処置についての手順がありますか？</p> <p>a ある  b ない</p> <p>2) その手順の見直しはどれほどの間隔で行われていますか？</p> <p>a 1年に1回見直されている  b 1～3年に1回見直されている  c 3年以上見直されていない</p>	<p>a (2点)</p> <p>b (0点)</p>	

評価指標 4.2：看護の質から見た設備・備品がある（12点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
4.2.1 患者の身体の清潔を維持するための設備・備品がある。	設備 清拭の備品	* 物品については常識的な範囲で代用する。 例えばペーパースンをバケツで代用するなど好ましくない。	1) 以下の石鹸清拭を行うための下記の5つの備品について該当する答えを選んでください。  <5つの備品> 1) ペーパースン 2) タオル 3) 石鹸類 4) ピッチャー 5) バスタオル  a 1)～5)の全ての物品がそろっている b 1) 2) 3)はそろっている c 1) 2) 3)のうち1つでもそろっていない 2) シャワー浴あるいは普通入浴のできる設備・備品がある  a ある b ない 3) 麻痺患者等の臥床患者のための入浴設備として特殊浴槽がある  a 病棟内か病棟内にある（移動式を含む） b 病棟内にも病棟内にもない	a (2点) b (1点) c (0点)	
4.2.2 保清をするための設備・備品の利用に利便性がある	設備		1) シャワー・浴室が自由に使用することができる (1) 1週間で使用できる日の制限が少ない  a 6-7日使用できる b 4-5日使用できる c 3日以下しか使用できない (2) 使用可能な時間制限が少ない  a 12時間以上開放されている b 8-12時間開放されている c 8時間以下しか開放されていない 2) 清拭車の蒸しタオルは保清の際、患者が必要時に十分使用することができる  a 患者が必要時に必要な枚数使用できる b 患者が必要時に使用できない	a (2点) b (1点) c (0点)	

4. 直接ケア

評価指標 4.3: 看護業務の中に日常生活援助に責任を負える体制がある (6点満点)

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
4.3.1 看護師は患者の日常生活に責任を持っている	書類 看護記録 看護計画表	担当の患者の看護計画の中に各項目が含まれているかを見て評価してください。	1) 担当の患者の看護計画の中に「清潔・食事・移動・排泄」に関する計画が含まれていますか？	a (1点) b (0点)	
			清潔の援助について a ある b ない  食事の援助について a ある b ない  移動の援助について a ある b ない	a (1点) b (0点)	
	業務分担表	*プライマリナーシングのときは、プライマリナーズの業務規定の中に「受け持ち患者の日常生活に責任を持つ」と明示されているか(2点)とする。 *業務基準に明示されていたり、病棟内のボードに表示されているなど、明示の仕方は問わない。	2) 床上患者に保清をする人が明示されていますか？	a (2点) b (1点) c (0点)	
			a アサインメントする人と保清する人の両方が明示されている b アサインメントする人と保清する人のどちらかが明示されている c アサインメントする人と保清する人のどちらも明示されていない	a (1点) b (0点)	

5. 場をつくる

評価指標 5.1：看護チーム内の役割分担が明確になっている（6点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
5.1.1業務調整がどのようになされているかを明示するシステムがある	書類 業務分担表	* 誰でもみられるところに明示されている必要がある。	1) 調査当日の日勤帯の看護師の業務分担表について当てはまるものを選んでください。 a 調査当日の業務分担表があり、受け持ち患者または仕事の内容が明示されている。 b 分担表がない。もしくはあっても業務分担表が記載されていない。 2) その日の日勤帯の責任者が明示されているかどうかについてお聞かせします。 a その日の責任者として氏名が明示されている b その日の責任者が明示されていない	a (1点) b (0点)	
5.1.2 役割毎の業務規定がある	書類 業務規定	具体的・理解しやすいかをみて「明示している」とみなす。 * 責任内容とは責任をとるべき項目 * 業務内容とは仕事として行う内容	1) 師長の業務規定について 責任内容 a 明示されている b 明示されていない 業務内容 a 明示されている b 明示されていない	責任内容 a (1点) b (0点) 業務内容 a (1点) b (0点)	

		<p>(例1) プライマリナーシングの場合          プライマリナーシングの責任内容と業務内容が明示されているかみて下さい。</p> <p>(例2) チームナーシングの場合          リーダーおよびメンバー（スタッフ）の責任内容と業務内容が明示されているかみて下さい。</p> <p>(例3) 混合型ナーシングの場合          プライマリナーシング、リーダー、スタッフ（メンバー）の責任内容と業務内容について明示されているかみて下さい。</p> <p>(例4) 機能別ナーシングの場合          各機能の責任内容と業務内容が明示されているかみて下さい。</p>	<p>2) その他の役割の業務規程についてそれぞれの看護体制ごとに必要な役割について、お答えください。</p> <p>a 全ての役割について責任内容と業務内容が明示されている</p> <p>b どれかの役割について責任内容か業務内容のどちらかがない。</p> <p>c 全ての役割について責任内容も業務内容もない。</p>	<p>a (2点)          b (1点)          c (0点)</p>
--	--	--	---	---

評価指標 5.2：看護師同士の協力体制がある（4点満点）

評価内容	評価の対象	評価方法	質問項目	評価尺度	得点
5.2.1 看護業務量に応じた人員配置の変更に 関する基準がある。	曹類 人員配置の基準 を記載したもの	曹類を見て評価を行う	<p>1) 病棟の業務量が増えたときに勤務者数を変えるための決まり事があるかどうかについてお聞きします。</p> <p>a 決まり事があり、明文化されている</p> <p>b 決まり事はあるが明文化されていない</p> <p>c 決まり事はない</p> <p>2) 病棟のスタッフに欠員が生じたときに勤務者数を変えるための決まりごとがある</p> <p>a 決まり事があり、明文化されている</p> <p>b 決まり事はあるが明文化されていない</p> <p>c 決まり事はない</p>	<p>a (2点)          b (1点)          c (0点)</p> <p>a (2点)          b (1点)          c (0点)</p>	